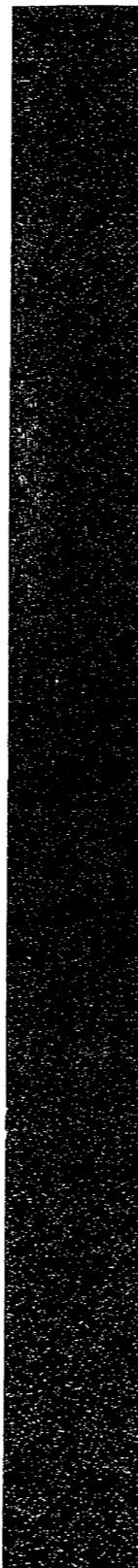


7-0284

0271



11

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

大正十四年五月四日 記錄係 振

はへつは
事務と並んで
車掌の件
荒格して不_良手
る事例の如き
下

7-0284

0272

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

「年じうての越しゑ
お徳は御

一慶元の露國人
カ萬馬。一五之七

欲せし動車

一英國の車、模倣、號
セイセイ原因(生麥事
件)其の改正日期

五(同上)同上

之の車倒産。一九

ノルマニヤノ

7-0284

0274

五(同上) 五(同上)
六(同上) 六(同上)
大正三
四月
住居

7-0284

0275

外務省

支那事務局

大正十三年四月
付

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

文書課長		文書課課長	
文書課發送		文書課發送	
大正十四年四月廿五日		大正十四年四月廿五日	
主文書課長		主文書課長	
管文書課長		管文書課長	
普通第 文書課長		普通第 文書課長	
九三九號		九三九號	
大正十四年四月廿五日		大正十四年四月廿五日	
受信人名 山川健次郎		受信人名 山川健次郎	
件名 舊經商事本部便箋及橫濱 支店請款		件名 舊經商事本部便箋及橫濱 支店請款	
名達級 諸暨支票		名達級 諸暨支票	
公信案		外務省	
外務省		外務省	

(甲號用紙)

別紙

14

(乙號用紙) 富井南

7-0284

0276

魯艦對馬來著ノ件

文久元年二月三日魯艦「ボサニヂカ」（乘組三百六十名）對馬島尾崎浦ニ來航ス

同艦寄港表面ノ理由ハ函館ヨリノ航海中艦ニ破損ヲ生シタル爲同所ニ於テ之力修理ヲナサントスルニアリタルナリ

島主宗對馬守ハ魯艦ノ來航ヲ聽キ直ニ配下ヲ現場ニ派シ船將「ヒリレフ」ニツキ開港場ナラサル當所ニ軍艦回航ノ事由ヲ訊サシメタルニ「ヒリレフ」ハ之ニ對シ前記破艦修理ノ目的ナルコトヲ答フルト共ニ修理ニ要スル木材供給、大工雇傭、加工場建設、食糧購買、乗員遊歩等ノ承認方ヲ要求セリ

島主ハ右懇請ノ何レモ不得止モノナルヲ察シ大体之ヲ認許シタルモ

士卒遊歩ノコトハ附近一里以内ニ限ルヘキヲ附告セリ

當事件ニ關シテハ直チニ宗島主ヨリ幕府ニ對シ詳細具報スルトコロアリタルヲ以テ幕府ハ外國奉行ヲ現場ニ差遣シ其ノ措置方ニ付直接艦將トノ交渉ヲ開カシメ他方又函館奉行ト在同地魯國領事トノ折衝ヲモ爲サシムルコトトセリ

其ノ間魯艦ノ尾崎村ニ出入スルモノ多ク豊力浦、芋崎一帶ノ地ニハ小屋ト稱スル家屋ノ建築、棧橋ノ設備、山道ノ切開キ等相當永久的性質ヲ有スル工事ヲモ施サレタルモノノ如シ而シテ「辛酉六月十三日魯人應對手續書狀」ナルモノニ依リテ見レハ豊力浦、芋崎ノ土地借入ノ議モ持ナ出サレ居ルヲ以テ當時魯艦來航ノ眞意ハ那邊ニ存セシヤハ自ラ忖度スルニ難カラサルモノアルヲ

惟ハシム

右土地借入ノ如キハ絶對詮議ノ餘地ナキ處ナルヲ以テ直ニ拒絶セラレタレトモ修艦ノ完了、退港ノ時期等諸種ノ折衝ニ時ヲ移シ魯艦滯泊ノ水引クニ連レ修理材料、糧食等ノ徵發、乘組兵ノ暴行又ハ言語不通ニ基因スル小爭鬭ノ幾度力繰返サルアリ殊ニ魯端艇ノ近海遊弋ニ付テハ海深測量等ノコトヲ懸念セラレ當時島役人ノ外憂ニ關スル銳敏ナル感覺ヲ刺戟シ時端ヲ發セントセシコト亦屢々ナリシヤニ散見セラル

如斯シテ日チ閱ミスルコト半歲餘函館奉行ヨリ同地駐在魯國領事ヘノ交渉談判遂ニ効ヲ奏シ同年八月和親的解決ヲ見艦將ハ對馬役向ヘ建設物ノ引渡ヲ了シ同時ニ退艦スルニ至リシナリ

3

横濱ニ英國駐兵ノ件

文久三年五月長州馬關ニ於テ奉勅攘夷ト稱シ長藩ノ米國商船砲擊ノ事アリ其ノ後又佛國船ニ對スル發砲事件等相踵テ起リ朝幕共其ノ前後策ニ苦慮シ先以テ長藩ニ對シ謝罪ノコトヲ促セトモ長藩ハ攘夷ノ勅諭ヲ云爲シ容易ニ之ニ應セス交渉遷延解決ヲ見ルニ至ラサリシ爲遂ニ亞、英、佛、蘭ノ四國公使等相集ヒ共ニ國旗侮辱ノ名ニ於テ其ノ罪ヲ問ハンコトヲ逼レリ

之ニ對シ我當局ハ交渉驟リニ努ムル所アリタレトモ何等妥協ノ曙光ヲ見サルニ際シ英國公使ヨリ更ニ長州不穩ノ實狀ニ顧ミ英艦同地同航ノ儀ハ因循スヘキモ艦内士卒ノ健康上他ニ陸上屯營ノ供用アランコトヲ要求シ來レリ

7-0284

0278

事茲ニ至リテハ強テ右要求ヲ拒辭ゼンカ必スヤ彼ラシテ馬關事件ノ難議ヲ主張セシムルコトトナリ我チシテ反テ不利且ツ困難ノ立場ニ陷ルルコトトナルヘキヲ惟ヒ元治元年九月政府ハ遂ニ英國屯營設置ノ議ヲ認許スルニ至リシナリ

時既ニ佛國ハ横濱ニ居留地警衛ノ兵ヲ駐メ居リタルヲ以テ英國又之ニ勑ヒ屯營地ヲ横濱ニ定メ同地ニ兵舍其他三十一棟ヲ建築シ此ニ駐兵シタリ

而シテ右駐兵ニ對シ我當局ハ當時邦内民心ノ極メテ不穩ナリシニ鑑ミ一時的居留地ノ警備ヲモ承認スルコトトナシタルモノノ如シ

其ノ駐兵數ハ明確ナラサレ共約一箇聯隊ナリシヤニ推定セラル。駐兵期間ハ元治元年ヨリ九ヶ年ノ久シキニ亘リタレトモ其ノ間我邦内

2 濱兵ヲ悉ク引揚ケルコトトナリタルナリ
ノ政治モ頓ミニ革マリ治安ノ維持、外人保護ノコトモ遺憾ナキヲ見ルニ至リタルヲ以テ英國ハ我方ノ撤兵要求ニ應シ明治五年十一月在濱兵ヲ悉ク引揚ケルコトトナリタルナリ

7-0284

0280

外務省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

大臣了

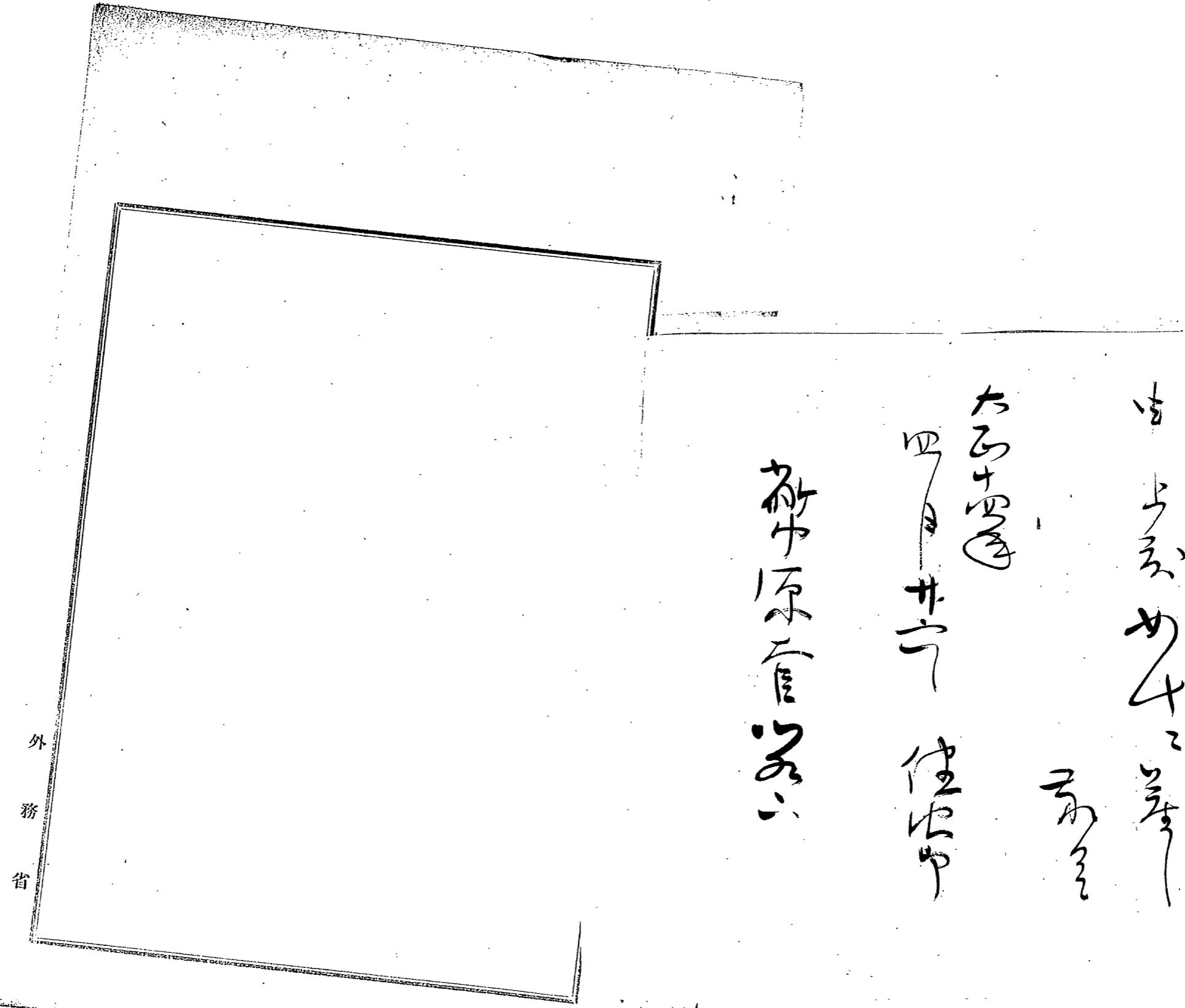
次官

文書課長 鶴

大正五年五月四日 記録係



十の成るはハツ西側
ある立被あひゆへよ
洋細の袖もひきし
以下す方附へひれ



7-0284

0281

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>